

議会だより

鳴門市
NARUTO CITY

2013年
3月1日号

No. **82**



2月17日、新消防庁舎がお披露目となり、多くの市民が見学に訪れました。これに先立ち開催された落成式では、議会を代表し議長が挨拶を行いました。(右上：当日はさまざまなイベントもあり、多くの親子連れでにぎわいました。)

目次

② ○第4回定例会の主な審査状況 ○ようこそ鳴門市へ! (視察受入状況)	⑥ ○【一般質問】 ・会派 絆 横井 茂樹 ・会派 のぞみ 秋岡 芳郎
③ ○第4回定例会の提出議案と議決結果について ○請願の処理	⑦ 代表質問 ・会派 公明 党会 松浦 富子 ・会派 新政 会 潮崎 焜及
④ ○記名投票の結果 ・消費税増税の実施中止を求める請願書 ・生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求める請願書 ・生活保護基準の引き下げはしないことなどを国に求める意見書 ・鳴門市議会議員の定数を定める条例の一部改正について ・鳴門市議会委員会条例の一部改正について ・鳴門市議会議長の辞職許可について	⑧ 個人質問 ・宅川 靖次 ・東 正昇 ⑨ 山根 巖 ・平塚 保二 ⑩ 橋本 国勝 ・三津 良裕 ⑪ 上田 公司 ・川田 達司
⑤ ○鳴門市学校給食についての調査報告書まとまる	⑫ ○議長・副議長・監査委員の改選について ○常任委員会構成の変更について ○第1回定例会日程

発行/鳴門市議会
☎772-8501
徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170番地
☎ 088-684-1234 ☎ 088-684-0814
✉ gikai@city.naruto.lg.jp

編集/議会広報編集委員会 発行/2013年3月1日

市議会の本会議および常任委員会の模様は、インターネット放送で、ご覧いただくことができます。
<http://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>
より「鳴門市議会映像配信」をご覧ください。

第4回定例会の主な審査状況

11月30日(金) 第4回定例会 開会/予算決算委員会

- ・閉会中に審査を行った平成23年度各会計決算の認定に係る議案16件について委員長の報告を受けた後、採決を行い、いずれも可決と決しました。
- ・市長より市政についての所信が表明され、議案4件および報告1件が提出されました。
- ・補正予算に関する議案3件を予算決算委員会に付託しました。

12月7日(金) 一般質問

- ・4会派による代表質問を行いました。

12月10日(月) 一般質問

- ・議員5名による個人質問を行いました。

12月11日(火) 一般質問 / 予算決算委員会

- ・議員3名による個人質問を行いました。
- ・議案2件および請願10件を所管の各常任委員会に付託しました。
- ・散会后、予算決算委員会を開催し、付託された議案3件について審査の結果、いずれも可決すべきと決しました。

12月12日(水) 総務民生委員会

- ・付託された議案2件、請願6件について審査の結果、議案2件はいずれも可決、請願6件のうち5件は採択、1件は不採択にすべきと決しました。

12月13日(木) 産業環境委員会

- ・付託された請願4件について審査の結果、請願4件のうち1件は採択、1件は不採択、2件は継続審査にすべきと決しました。また、2件の報告を受けました。

12月18日(火) 本会議

- ・提案された16議案及び請願8件について各常任委員長の報告を受けた後、採決を行い、議案についてはいずれも可決、請願8件のうち5件は採択、3件は不採択と決しました。
- ・議員・委員会より意見書7件が提案され、討論・採決の結果、7件のうち6件は可決、1件は否決と決しました。
- ・学校給食に関する調査について審査結果報告を受けた後、採決を行い、可決と決しました。
- ・発議4件について採決を行い、2件は可決、1件は否決、1件は議決不要で廃案となりました。

12月21日(金) 第4回定例会 閉会

- ・議員10名より決議案1件が提出され、委員会への付託を省略し、採決の結果、可決しました。
- ・議長・副議長の辞任に伴う選挙、議会選出監査委員の辞任に伴う同委員の選任等、議会の構成の一部変更を行いました。

ようこそ鳴門市へ! (視察受入状況)

(中国・四国から)

- 3月26日 吉野川市(徳島)
…議会基本条例
(改革の様子など)
- 7月27日 徳島市(徳島)
…鳴門市のごみ政策
- 8月2日 雲南市(島根)
…議会改革の取り組み、
議会運営
- 11月13日 周南市(山口)
…競艇事業の経営改善

(九州から)

- 7月3日 佐伯市(大分)
…鳴門市地震津波対策推進計画、
自治基本条例

(近畿から)

- 1月23日 海南市(和歌山)
…予算決算の審査事務
- 2月13日 藤井寺市(大阪)
…自治基本条例
- 3月27日 尼崎市(兵庫)
…市営バスの撤退
- 8月9日 朝来市(兵庫)
…介護支援ボランティア制度
- 10月18日 大淀町(奈良)
…ごみ処理施設全般
- 10月30日 野洲市(滋賀)
…グリーンセンター等の施設整備、
ごみの取り扱い、広報

(東海・北陸から)

- 5月9日 焼津市(静岡)
…スーパー改革プラン
- 6月27日 野々市市(石川)
…にぎわいなると、
地域雇用創造協議会
- 7月26日 亀山市(三重)
…リサイクルへの取り組み、コスト削減
- 10月11日 蒲郡市(愛知)
…競艇事業
- 11月15日 伊勢市(三重)
…予算決算審査のあり方

(北海道・東北地方から)

- 1月17日 喜多方市(福島)
…自治基本条例
- 2月17日 相馬市(福島)
…議会基本条例の経緯、
予算決算委員会運営
- 5月8日 十和田市(青森)
…事業仕分け、
スーパー改革プラン
- 11月8日 湯沢市(秋田)
…自治基本条例
- 11月15日 白河市(福島)
…都市計画マスタープラン

(関東・甲信越から)

- 2月9日 つくば市(茨城)
…議会改革
(議会基本条例など)
- 5月9日 飯山市(長野)
…予算決算・各常任委員会の
構成、分科会設置の経緯
- 5月18日 桐生市(群馬)
…道路アドプト事業、
なるとビジネスサポート制度

第4回定例会の提出議案と議決結果について

議案番号	案 件	議決結果	備 考
議案第80号	平成23年度鳴門市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	予算決算委員会にて審査
議案第81号	平成23年度鳴門市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
議案第82号	平成23年度鳴門市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		
議案第83号	平成23年度鳴門市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
議案第84号	平成23年度鳴門市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
議案第85号	平成23年度鳴門市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
議案第86号	平成23年度鳴門市産業団地開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
議案第87号	平成23年度鳴門市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
議案第88号	平成23年度鳴門市文化会館事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
議案第89号	平成23年度鳴門市光熱水費等支出特別会計歳入歳出決算の認定について		
議案第90号	平成23年度鳴門市給与費等管理特別会計歳入歳出決算の認定について		
議案第91号	平成23年度鳴門市公債費管理特別会計歳入歳出決算の認定について		
議案第92号	平成23年度鳴門市水道事業会計決算の認定について		
議案第93号	平成23年度鳴門市運輸事業会計決算の認定について		
議案第94号	平成23年度鳴門市モーターボート競走事業会計決算の認定について	原案可決	
議案第95号	平成23年度鳴門市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	承認	
議案第96号	専決処分の承認について(平成24年度鳴門市一般会計補正予算(第3号))	原案可決	
議案第97号	平成24年度鳴門市一般会計補正予算(第4号)	原案可決	
議案第98号	平成24年度鳴門市モーターボート競走事業会計補正予算(第1号)	原案可決	総務民生委員会にて審査
議案第99号	鳴門市青少年会館及び鳴門市市場・川崎児童館に係る指定管理者の指定について	報告	産業環境委員会
議案第100号	鳴門市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について	否決	
報告第13号	専決処分について(損害賠償の額の決定)	原案可決	
発議第8号	鳴門市議会議員の定数を定める条例の一部改正について	議決不要により廃案	
発議第9号	鳴門市議会委員会条例の一部改正について	原案可決	
発議第10号	鳴門市議会委員会条例の一部改正について	原案可決	
発議第11号	鳴門市議会政務調査費に関する情報を公開する条例の一部改正について	否決	
意第3号	消費税増税の実施中止を求める意見書	原案可決	第4回定例会において可決された意見書は、国の関係機関や各省庁に送付
意第4号	生活保護基準の引き下げはしないことなどを国に求める意見書		
意第5号	核兵器禁止条約の締結交渉開始を求める意見書		
意第6号	「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書		
意第7号	伊方原発の再稼働を行わないことを求める意見書		
意第8号	鳴門市大麻町板東字中谷における残土処分場の開発許可に反対する意見書		
意第9号	オスプレイなど米軍機の低空飛行訓練中止を求める意見書	原案可決	
決議第3号	鳴門市学校給食に関する調査の件	原案可決	
許可第1号	議員倫理調査特別委員会の設置について	許可	
選第1号	鳴門市議会議長の辞職許可について	選挙	
許可第2号	鳴門市議会副議長の辞職許可について	許可	
選第2号	鳴門市議会副議長の選挙について	選挙	
許可第3号	鳴門市議会議長の辞職許可について	不許可	
許可第4号	議長の常任委員会委員の辞任について	許可	
同意第6号	監査委員の選任について	同意	

請願の処理

請願番号	案 件	審査結果	備 考
請願第25号	消費税増税の実施中止を求める請願書	不採択	総務民生委員会にて審査
請願第26号	生活保護基準の引き下げはしないことなどを国に意見書提出を求める請願書	採 択	
請願第27号	核兵器禁止条約の締結交渉開始を求める意見書の提出に関する請願書	不採択	
請願第28号	オスプレイ配備・訓練の中止を求める意見書の提出に関する請願書	採 択	
請願第32号	「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書提出を求める請願書	不採択	
請願第33号	伊方原発の再稼働を行わないことを求める請願書	採 択	
請願第31号	「年金2.5%削減の法律」を廃止にすることを求める意見書の採択についての請願書	不採択	産業環境委員会にて審査
請願第34号	大麻町板東字中谷における残土処分場の開発に反対する請願書	採 択	

「請願って何ですか?」



「請願(せいがん)」というのは、国民が国や県・市町村に対して、文書で条例や政策などに対する希望や要望を申し出るものです。これは日本国憲法第16条で認められた国民の権利の1つで、参政権(投票をする権利)と違い年齢などの制限はなく、未成年者や法人、外国人も請願することができます。

市民の皆さんが市に対して請願をする場合は、意見・要望の内容、提出年月日、請願する人の住所・名前・押印と、その内容に賛同する議員(紹介議員)の署名または記名・押印を備えた請願書を、直接鳴門市議会に提出していただきます。

鳴門市では、まず、提出された請願の内容を担当する委員会が審査します。請願をする人(代理人も可)は委員会で、口頭で意見・要望について説明することができます。委員会での審査の後、本会議でその請願について採決を行い、議会としての採択・不採択を決定します。採択された場合は、議会および行政執行機関に要望の実現に努力するよう求め、国や県へ意見書の提出を求める内容の場合は各関係機関へ送付します。ただし、委員会ですらに調査が必要とされた請願については、閉会中も含め審査が続けられます(継続審査)。

なお、「陳情(ちんじょう)」も国などに実情を述べて適当な措置を求める方法の1つですが、憲法で保障された権利ではなく、議会に提出する際、紹介議員の記名・押印は必要ありません。鳴門市では、陳情は委員会が審査せず、市議会の議員に陳情の写しを配布しています。

記名投票の結果

第4回定例会において採決が行われた議案および請願のうち、請願第25号、請願第26号、意第4号、許可第3号は起立採決の結果「起立者の多少を認定しがたい」と議長が判断し、また発議第8号および発議第9号については、所定数の議員より投票による採決の要求があったため、議会運営委員会の協議を経て、記名投票を行うことになりました。(下記「どうして記名投票をすることになったの?」を参照)

なお、請願第25号、請願第26号、意第4号、許可第3号は記名投票において賛成・反対が同数となったため、議長が裁決権を行使し、可否を決定しました。

(○:賛成 ●:反対 欠:欠席 退:退席)

議案	議員名 (議席番号順)	議決結果	賛成 反対	秋岡	東	上田	大石	川田	榎原	佐藤	潮崎	宅川	谷崎	野田	橋本	林	坂東	平塚	藤田	松浦	三津	宮崎	山根	山本	横井			
				芳郎	正昇	公司	美智子	達司	幸吉	焜及	靖次	徹	粹之	国勝	勝義	成光	保二	茂男	富子	良裕	光明	巖	秀	茂樹				
請願第25号 消費税増税の実施中止を求める請願書	不採択	10:10	●○	○	○	○	欠	●	●	○	●	○	○	●	●	○	●	○	●	●	○	○	○	※1	○			
請願第26号 生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求める請願書	採択	10:10	●○	○	○	○	欠	●	●	○	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	※1	●		
意第4号 生活保護基準の引き下げはしないことなどを国に求める意見書	原案可決	10:10	●○	○	○	○	欠	●	●	○	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	※1	●		
発議第8号 鳴門市議会議員の定数を定める条例の一部改正について	原案を 否決	8:12	○●	○	●	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※1	●	
発議第9号 鳴門市議会委員会条例の一部改正について	原案可決	11:9	●○	○	○	○	欠	●	●	○	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※1	○	
許可第3号 鳴門市議会議長の辞職許可について	不許可	10:10	○●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※2	●

※1 山本 秀議長および林 勝義副議長(許可第3号では議長職を交代)は、地方自治法第116条(表決)第2項により、議員として議決に加わることはできません。
 ※2 山本 秀議長は、当該事件において直接利害関係があると考えられるため、地方自治法第117条(除斥)により、議会の同意がある場合を除き、当該議事に加わることができません。

どうして記名投票をすることになったの?

議会における議決の手順は会議規則などで定められており、おおむね下記ようになります。

- ① 原則として、問題とする議案などについては起立による採決をし、その多少で可否を決定します。
- ② 起立による採決で以下のような場合、投票(記名投票または無記名投票)による採決を行います。
 - 議長が起立者の多少を認定しがたい場合(賛否が拮抗している場合)
 - 議長の可否の宣告に対し、出席議員の一定数以上から異議があるとき(鳴門市は4人以上)
 - 出席議員の一定数以上の要求があるとき(鳴門市は4人以上)
 - 議長が必要と認めるとき

ほとんどの場合、誰が賛成・反対の意思表示を行ったか分かるよう、記名による投票が行われます。
 (発議第8号および第9号については、あらかじめ所定数の議員より投票による採決の要求があったため。)

- ③ 記名投票を行った結果、賛成・反対が同数となった場合は、議長がその議案などの可否の最終決定をします。



鳴門市学校給食についての調査報告書まとまる

— 市長へ要望書とともに手渡す —

平成23年6月に、財団法人鳴門市学校給食会の職員(当時)による横領^{おうりょう}事件が発覚しました。

《 調査の経緯 》

日	会議名	会議の内容
H23.6.16	議会運営委員会	当該事件の報告 ほか
	全員協議会	全議員に対し、当該事件の報告
	議会運営委員会	本件の今後の取り扱いについて
6.23	予算決算委員会	学校給食会の概要、事件発覚後の対応
6.24	議会運営委員会	決議案2件の確認
6.27	本会議	決議案2件を議決
7.11	予算決算委員会	その後の事件の経過について
7.25	予算決算委員会	事件調査
8.24	予算決算委員会	事件調査
10.21	予算決算委員会	参考人招致の決定 (当時の鳴門市学校給食会関係者より)
11.1	予算決算委員会	参考人を招致し説明を受ける
12.15	予算決算委員会	これまでの総括
H24.2.16	予算決算委員会	参考人招致の決定 (当時の教育委員会職員)
3.16	予算決算委員会	参考人を招致し説明を受ける
4.18	予算決算委員会	他市の状況について視察(阿南市)
8.22	予算決算委員会	3/16委員会以降の状況報告
9.4	予算決算委員会	提言、意見の集約

市議会では本市の学校給食に多大な影響があると判断し、市民に対し事件の経緯また運営実態を明らかにするとともに、事件再発防止のために、平成23年6月27日に「鳴門市学校給食の100条調査及び98条検査に関する決議」、また、「鳴門市学校給食の監査請求に関する決議」を議決し、予算決算委員会において、学校給食を所管する市教育委員会、また、財団法人鳴門市学校給食会の関係者を参考人として出席要請し話を聞くなど調査を行ってきました。

その調査報告書がまとまり、先の第4回定例会中の12月18日に議長に提出し、12月20日には、「鳴門市学校給食についての要望書」とともに、議長から学校給食を所管する市(市長)へ手渡されました。

市に申し入れた要望

1. 学校給食会には、被害額の内なお未収金回収の問題が残るが、適切な経理処理、厳しいチェック機能を備えた組織体制の構築、法令遵守及び危機管理の徹底に努めること。
2. 学校給食会において資金不足が生じることがあっても、決して保護者に負担を求めることは勿論、市の税をもって充てることは許されない。
3. 本市の学校給食の運営体制全体を抜本的に見直し、再発防止に努められたい。
4. 今後も安定した学校給食を提供することが責務である市当局は、職員一人ひとりの役割を十分認識し、安全・安心かつおいしい給食を安価に提供することに全力で取り組み、保護者から集めた給食費の取り扱いについてはより高い透明性を確保し、1日も早く市民の信頼回復に努めるよう強く要望する。



報告書と要望書を併せ、市長に手渡す議長

代表質問



会派 自由民主党
よこい しげあき
横井 茂樹

● 市長の政治姿勢について

【問】1960年池田内閣の所得倍増計画の後、農業と商工業の所得格差が生じたため、第2次・第3次産業に人が流出した。本市の農業も所得減少や後継者問題により活力低下の状況だが、市長の現状把握と課題への取り組みは。

【答】本市ブランド農産物は青果での評価は高いが、新商品開発や規格外品の有効活用などは課題です。また販売価格が景気や消費の動向に左右され、安定経営は困難となっています。こうした状況に対し、①さらなるブランド力の強化を目指し、経営の安定化を推進②6次産業化や農商工連携による付加価値の拡大、新ビジネスの創出③国・県と連携し、新規就農等への助成制度を活用した将来の担い手育成などに取り組んでいます。

【問】就農者の高齢化や後継者不足が大きな課題だが、活性化のため市の方向性は。

【答】担い手育成として、45歳未満の新規就農者に対し、就農後最長

5年間、年間150万円を支給する青年就農給付金を今年度は2,175万円の給付見込みで、そのために必要な「人・農地プラン」の早期作成を目指します。また、規格外品のブランド農産物(梨、桃など)を活用した新商品の開発・商品化の支援として、今年度末までに、国に特区制度の認可申請を行いたいと考えています。さらに、市内消費の拡大や食育推進による

鳴門ブランドの拡大を目指した競艇場での農漁業6次産業化フェアの開催などに取り組むことで、付加価値の創出や6次産業化の促進、産業間の連携強化、地域の活性化や交流につながると考えています。



梨などのブランド農産物を活用した果実酒の特産申請も予定されている

代表質問



会派 自由民主党
あきおか よしひろ
秋岡 芳郎

● 市長の政治姿勢について
● 下水道事業について
● 財政の健全化について

【問】泉市政3年間の成果について、自分の思いと感想を込めた自己評価を。

【答】マニフェスト関連事業はおおむね順調に進捗し、一定の成果を上げているとの認識ですが、市民の皆様の評価やニーズは多様で厳しいため、環境の変化にあわせ、事業の方向性の見直しや新たな施策展開に向け情熱と誠意を持って邁進します。

【問】マニフェストと第6次鳴門市総合計画との整合性について。

【答】市民意識調査等を通じて伺った市民の思いと、私が掲げた3つの約束、7つの挑戦にあるまちづくりに対する理念や目指す方向性を反映させた計画です。

【問】第2期以降の公共下水道事業の見直しも含めた今後の事業方針は。

【答】現在の第2期事業区域は、将来的にも集合処理が経済的に有利と判断された区域内に設定しており、市污水处理構想にも沿っています。今後下水道事業を進めるにあたっては、社会情勢の変化に対応し適宜見直していきます。

【問】下水道事業における地震・津波対策について。

【答】本市も利用している松茂町の終末処理場には、仮設ポンプや発動発電機の配備などの津波対策を検討しています。また、配管施設も阪神・淡路大震災での経験、新潟県中越沖地震などでの液状化被害の状況もふまえた最新の耐震指針に基づき整備しています。



鳴門市下水道の終末処理場 (アクアきらら月見ヶ丘(松茂町))

【問】平成23年度末での本市の基金は約35・6億円である一方、起債の比率を示す実質公債費比率は15・5だが問題はないか。

【答】現在、実質公債費比率は危機的な数値ではありませんが、今後も防災対策など緊急性の高い事業推進のため、公債費の負担は高い傾向が続くと考えています。一部の市債発行が制限される早期健全化基準にならないよう、計画的な事業の実施と市債の発行に努め、基金残高の適切な規模を確保した財政運営をします。

代表質問



党公明 子富
会派 浦松
まつら 松

医療の適正化について
子育て支援について

問 患者の負担軽減と国民健康保険医療費の削減にご協力いただくため、被保険者の方にジェネリック医薬品（後発医薬品）差額通知書を送付しているか。また、処方された先発医薬品をジェネリック医薬品にした場合の財政的効果は。

答 県内での後発医薬品差額通知書の送付は、24自治体のうち21が実施、3自治体を送付していません。今後、先行している県内自治体での効果等を十分見きわめジェネリック医薬品の効果的な普及方法を検討したいと考えています。

また、徳島県国民健康保険団体連合会では、県内保険者の委託を受けて、平成24年4月から差額通知を実施し、後発医薬品を利用した場合の薬剤費の削減効果額は、10月時点での実績では21保険者の合計で約600万円とのこと。

問 子育て関連法案の改正により創設された新たな幼保連携型認定子ども園を本市で拡充することについて、市長の考えは。



ジェネリック医薬品の相談は、このマークのある医療機関、薬局へ

答 本市では子育て関連法案への対応について、庁内で子ども・子育て新システム等研究会を立ち上げ検討を進めているところです。

問 現在3人以上が保育所に同時に入所した時のみ第3子以降の保育料は無料だが、第1子の年齢に関わらず第3子の保育料無料化について、市の考えは。

答 第3子以降の保育料無料化は、県内では徳島市、阿南市、藍住町で実施しています。今後、他の状況等も勘案しながら、財政的な影響も含め検討したいと考えています。

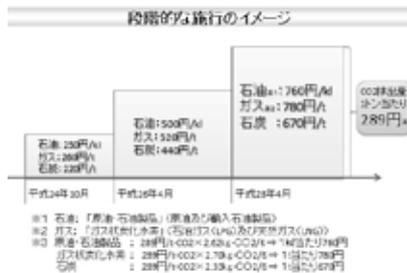
代表質問



会派 新政 会
しおざき てるちか
潮崎 焜

未来志向の行政運営について
競艇事業の公金支出について
鳴門市の旅費について

問 厚生労働省は医療費について2013年度から70歳に到達する人に2割の窓口負担を求めめる検討をして、70歳から74歳の負担を1割に据え置く特例措置を廃止、5年間かけて段階的に本来の2割負担に引き上げるとした。また住民税は平成24年6月から年少扶養控除が廃止、厚生年金保険は9月から保険料率が改定された。さらには地球温暖化対策税や復興増税の実施、消費税の引き上げなど、社会負担が増大している中で公共下水道によるコストを市民に負担させて、公共下水道を推進するのはか。



平成24年10月から施行し、3年半かけて段階的に引き上げる「地球温暖化対策のための税」

答 公共下水道事業について総合的に判断した上で進めています。

問 競艇事業について、漁業組合に支出している協力金および臨時従事員に支出している離職せんべつ金は凍結しているのか。

答 判決の出していない現在においては、粛々と事務執行していきます。

問 市長等を中心にした旅費の執行のあり方について、情報公開で得た資料を調査した範囲では、旅費の精算において領収書が全く添付されていなかった。市長の旅費で平成23年度および平成24年度は、残金の痕跡は全くなく、当然残金の返金はないが、実態はどうなのか。

答 日程、目的地、行程等を記載した旅行命令に基づいて出発前に概算払いにより旅費を支給し、出張終了後に精算する定額支給方式は、国や多くの地方公共団体で採用されています。現在、他団体などの取り組みも調査検討し、条例改正も視野に入れた見直しを検討しています。

個人質問



たかかわ やすじ 次 川 靖 宅

● 市民サービスについて
● 経済活性化について
● 福祉行政について

〔問〕広報について、市政をより深く理解されるよう、今後どう取り組むか。

〔答〕自治基本条例の目的、「市民等の参画と協働を推進し市民等が主役のまちづくりを実現すること」や第6次鳴門市総合計画に掲げる

「結びあう絆が創る笑顔と魅力うずまく鳴門」実現のため様々な媒体を活用し、積極的・効率的な広報活動に努めたいと考えています。

〔問〕税収が落ち込む中、地域経済活性化のため、どのような施策を展開していくのか。

〔答〕現在、地元中小企業が成長しやすい経済環境をつくるエコノミックガーデンニングの手法を用いた経済活性化に取り組んでおり、経営者同士の情報交換の場となることを想定したエコノミックガーデンニングのホームページ開設を準備しています。

また、鳴門複合産業団地にある最先端技術を持つ企業や今後成長が期待できる企業を支援すると

もに、企業・関係機関との連携強化に努め、中・長期的な視点から地域経済活性化施策を積極的に展開していきます。

〔問〕市シルバー人材センターの登録人数と就業率は。また受注事業の実績は。

〔答〕平成23年度の会員登録人数は男性142人、女性64人の計206人です。また、同年度会員の延べ就業人数は21,829人、就業率は97・1%と県内トップレベルです。

受注事業の実績については、平成23年度が2,043件であり、その内訳は、一般作業が1,231件、技能業務が630件、管理業務が141件、技術業務が24件などとなっています。

また、鳴門複合産業団地にある最先端技術を持つ企業や今後成長が期待できる企業を支援すると



文化会館周辺の清掃活動をするシルバー人材センターのみなさん

個人質問



あずま まさのり 東 昇

● 心の教育について
● 市民歌の斉唱について
● グラウンドゴルフ練習場の環境整備について

〔問〕心の教育について、教育委員会および学校現場はどのように取り組んでいるのか。

〔答〕小・中学校においては道徳や学級活動等の時間に人を大切にする心や人権を尊重する心を育むとともに、家庭や地域など社会全体で取り組み、地域の人材を活用した心の教育に努めています。

〔問〕市民歌の斉唱について。

〔答〕本市では、市制施行記念表彰式や成人式などの公式行事で斉唱されており、市民歌の斉唱は、市民の愛市意識を高めるとともに、市民と行政との一体感を醸成する効果があると認識しています。

議員ご提案の趣旨をふまえ、職員および市民が一層の愛着を持てるよう、昼休み時間などに庁内放送で市民歌を流すなどの取り組みを検討していきます。

さらに、鳴門市職員としての意識や責任感、愛市意識を醸成するため、新規採用職員に対する市民歌の研修も検討したいと考えています。

〔問〕グラウンドゴルフ練習場の環境整備について。

〔答〕市内でグラウンドゴルフの練習をされている団体の多くは公園や学校の運動場などを利用しており、練習場所が確保できない地域については用地確保に向け可能な限り対応しています。



♪ 鳴門市民歌 ♪
雲騰り 光さやけく
明けそめし 新生の都。市
観光と 文化の使命
鳴門あり 我等の鳴門
ああ誇りあり 我等の鳴門
市民みな 心ひとつに
飲びて 故郷の美し
海山は 永久に
ああ栄えあり 我等の鳴門
黒潮の 集まりよせて
瀬戸わたる 渦の心びきに
若人の たぎつ雄心
鳴門あり 我等の鳴門
ああ社あり 我等の鳴門

鳴門市民歌は、市公式ホームページで聴くことができます

個人質問



やまね いわお
山根 巖

- 教育行政について
- 環境行政について
- 競艇事業について

【問】 中学校教育について、中学2年生以降の35人学級の導入をどう考えているか。

【答】 国は、新学習指導要領の円滑な実施や生徒指導面の課題等に対応するため1学級当たりの子ども数を35人以下とする少人数学級の導入に向けた教職員定数改善計画案を発表したところであり、市としては今後、国や県の学級編成基準の動向を注視していきます。

【問】 指定ごみ袋の形状変更について。

【答】 本市では事前に、改良したごみ袋のモニター調査を実施して住民ニーズの把握に努め、その結果により早ければ平成25年夏頃にはご利用いただけるよう取り組んでいきます。

【問】 新競艇施設において、本場レース再開時に現在の臨時従事員の能力を生かした雇用を検討する考えはあるか。

【答】 施設自体がコンパクトになることや運営形態によって、十分な



平成26年度から改修工事が予定されている鳴門競艇場

雇用人数が確保されるかは現時点ではわかりません。雇用関係については平成25年度末に一度リセットさせていただきたいと考えています。しかし一般的には、運営形態に関わらず臨時従事員は、現在まで培った知識や経験が生かせる職種の採用では優位と考えており、今後は組合と十分話し合っていきます。

個人質問



ひらつか やすじ
平塚 保二

- 水環境対策について
- 雇用問題について

【問】 単独処理浄化槽と合併処理浄化槽の比率は、平成24年6月議会でも伺ったが、浄化槽法7条検査および11条検査の再検証が必要だと考える。2つの検査について、検査料金や検査機関をもう一度考え本市だけで対応できないなら、県や国に働きかける意向はないのか。水環境はみんなで守るという認識や意識が必要だという本市の汚水処理構想の説明責任が果たされず、こうした問題が多く発生していると考えるが。

【答】 平成24年10月末現在の鳴門市の浄化槽等の設置状況は21,400基でそのうち単独処理浄化槽が14,650基で68.5%、合併処理浄化槽が4,454基で20.8%、くみとり槽が2,296基で10.7%です。

検査料金は、浄化槽法で義務づけられる法定検査の経費で、県内全域の検査を円滑に実施するため必要と考えています。

検査機関については、国の指定基準により県が指定し、現時点で基準を満たすのは公益社団法人徳島県環境技術センターだけです。

【問】 私がハローワーク鳴門に通い行った調査では、ハローワーク鳴門は求職数100に対し求人数が98と決して低くないが、求人数のうち介護関係の職種が35%を占める一方、働く世代ではこうした仕事の求職数が少ないことをどう考えるか。また市はハローワークとどう連携しているのか。

【答】 本市の雇用情勢は、医療・介護・福祉部門の慢性的な人不足や収入格差の問題など多くの課題を認識しており、地域行政の役割を見出し、解決に向けて取り組みます。

ハローワークとの連携については、エコノミックガンニングの手法により、これまで希薄だった企業・関連団体間の関係を強化し、市ホームページへの求人情報掲載や合同就職面接会などの施策を効果的に行っていきます。



鳴門市、板野郡の求人情報を取り扱うハローワーク鳴門

個人質問



橋本 かつ国勝

防災対策について
教育行政について

【問】津波対策をどのように見直し、対策をとるのか。

【答】避難場所や避難路の指定・設定のほか、津波ハザードマップは、自主防災会を中心とした市民の意見やフィールドワークなどにより地域の実情に合った実効性のあるものに見直したいと考えています。

【問】大毛海岸の無堤防地域への堤防整備を県へ要望する考えはないのか。

【答】今年度知事・市町村長地域懇談会で早期整備を要望したが、今後も大毛海岸の景観に配慮した堤防の早期整備を働きかけていきたいと考えています。

【問】津波時の樋門の閉鎖は、管理者に委託しているが、安全確保など非常時のため二段・三段構えで対応を想定する必要があるのでは。

【答】現在関係機関と調整中であり、新しい鳴門市消防団震災対応マニュアルを作成するまでの間は、現行のマニュアルに沿った運用を考えています。



新しい体育館を建設中の鳴門中学校

【問】小・中規模の中学校では、指導者や用具などが不足し、希望する部活動ができない生徒がいると聞かすが、部活動のあり方や仕組みづくりをどう考えているのか。

【答】生徒が望む部活動ができる教育環境を整えることは大変重要です。隣接する小・中規模の中学校での学校間の合同部活動の推進や地域のスポーツ団体との交流を積極的に進め、小規模の学校でも子どもたちが望む部活動ができるよう検討したいと考えています。

個人質問



津良 ひろ津良裕

福祉行政について
男女共同参画社会の
推進について

【問】本市では1人暮らしや寝たきり、要介護の高齢者や老老介護の世帯が増加している。高齢者への医療サービス体制や交通、食事、防犯・防災、地域でのふれあいについて、本市の課題と今後の対策は。

【答】本市は平成24年3月末で高齢化率26・7%、約4人に1人が65歳以上の超高齢社会です。介護認定者が増加する一方、家族機能の崩壊や近所づき合いの希薄化など、高齢者が孤立しやすい状況があり、地域や関係機関が連携した支援体制を充実したいと考えています。

【問】高齢者の見守り支援体制への取り組みは。

【答】24時間365日対応し、30分で要支援者のもとへ駆けつける地域包括支援センターを市内5カ所に設置し、地域の高齢者の生活上の問題を早期に見見・対応できるネットワークづくりに取り組んでいます。

【問】男女共同参画社会とはどのような社会か、またなぜ本市に必要なのか。

【答】男女が社会の対等な構成員として、自らの意思であらゆる分野の活動に参画する機会が確保され、均等に政治的・経済的・社会的・文化的利益を享受し責任を担う社会とされています。本市では、社会生活や就労環境で、まだまだ男女が対等な社会の構成員として認識されていないのが現状で、市民生活のあらゆる場面で男女ともいきいきと輝いて生きる社会の実現のため必要と考えています。



2月3日、文化会館にて開催された「男女参画社会づくりinNARUTO」での基調講演の様子

【答】女性の社会参画が進む一方、少子・高齢化による労働力減少に対応するため、育児をしながら職場に復帰できる環境の整備を進めたいと考えています。

個人質問



うえだ こうじ
上田 公司

● 観光行政について ● 高齢者福祉について

【問】 鳴門市うずしお観光協会に関して、その自由度を市長はどう考えているか。また旅行業について早急に登録する考えがあるか。

【答】 観光協会へは、自主性を尊重し一定の裁量により事業展開ができることを考慮したうえで補助金を支出しています。

旅行業登録に関しては、観光客へのサービス拡大となり、また利便性の向上も図れ、望ましいと考えています。理事会等でも十分に審議し適正に決定されると考えています。



平成24年10月より一般社団法人化された
鳴門市うずしお観光協会

【問】 介護予防事業の委託先との連携について、介護認定者抑制のためには、市の取り組みのうち重複するメニューの効率化や委託先が行っているメニューへのステップアップを促す必要があるのでは。

【答】 介護予防教室参加者の運動継続の動機づけのため、NPO等が実施している、より質の高いメニューへのステップアップを促すなど、さらに効果的な運営方法を検討したいと考えています。

【問】 地域での見守りについて、より一層の情報共有や取り組みの効率化を行い、それぞれの負担軽減や独居高齢者等に関する取り組みへステップアップすべきと考えるが。

【答】 今後は、地域包括支援センターと本市担当部局との役割分担をより明確にするとともに、担当部局の体制強化およびセンターが抱える支援困難事例や権利擁護などへの後方支援として、基幹型地域包括支援センターの設置を検討していきます。

個人質問



かわた たつじ
川田 達司

● 耕作放棄地対策について ● 学校給食での 地産地消促進について

【問】 耕作放棄地の解消策について。

【答】 耕作放棄地対策は、食料自給率向上に加え本市の経済に大きな影響を及ぼすため、その抑止に向け、地域ならではのアイデアや工夫により作物の継続的生産と農地の再生を実現させるとともに、耕作放棄地所有者の意向や農業生産に対する意欲をお聞きしながら種々取り組みを行ってまいります。また、先進事例として、特に中山間地での薬草栽培などは、産官学連携の進展が期待できます。

今後は、地域ごとの中・長期的な土地利用の展望を明確にしつつ、持続可能な農業生産を確保し、関係部局と連携した取り組みを進めます。

【問】 学校給食の食材に地域野菜を積極的に取り入れ、地域農業の振興に貢献すべきと考えるが、その取り組みについて。

【答】 学校給食では本市独自の献立を実施し地産地消に取り組んでいます。また平成27年度稼働予定の新学



毎月19日の「なると学校食育の日」には、地元食材をふんだんに使った給食が提供される

校給食センターの基本方針に、地場産品による郷土色豊かな献立づくりを位置づけ、学校給食に地域食材をふんだんに取り入れた献立を増やし、より一層の地産地消と食育の推進、また地域農業の振興に貢献したいと考えています。新学校給食センター稼働時には生産者などの協力的体制を確立し、地域食材の安定的な供給を確保する仕組みづくりなどを検討します。

議長・副議長・監査委員の改選について

平成24年第4回定例会閉会日(12月21日)に、議長・副議長の選挙および議会選出監査委員の選任が行われました。

その結果、議長に山本 秀議員、副議長に林 勝義議員が選出され、監査委員に東 正昇議員が選任されました。



監査委員
あずま まさのり
東 正昇



副議長
はやし かつよし
林 勝義



議長
やまもと しげる
山本 秀

常任委員会構成の変更について

鳴門市議会委員会条例の改正に伴い、常任委員会の構成が変更され、3委員会から4委員会になりました。各常任委員会・議会運営委員会の構成については以下の通りです。(下図参照 / ◎…委員長 ○…副委員長 ※敬称略)

総務文教委員会	生活福祉委員会	産業建設委員会	予算決算委員会	議会運営委員会
◎宅川靖次 ○山根 巖 大石美智子、佐藤絹子、 谷崎 徹、橋本国勝、 藤田茂男	◎三津良裕 ○松浦富子 東 正昇、上田公司、 榎原幸告、野田粹之、 宮崎光明	◎坂東成光 ○平塚保二 秋岡芳郎、川田達司、 潮崎焜及、林 勝義、 横井茂樹	◎宮崎 光明 ○潮崎 焜及 (※委員は議長を除く全議員)	◎横井茂樹 ○秋岡芳郎 東 正昇、榎原幸告、 佐藤絹子、谷崎 徹、 松浦富子、三津良裕

変更前

委員会名	定数	所管
総務民生	11	企画総務部・健康福祉部・消防本部・教育委員会・選挙管理委員会・監査委員・会計管理者・他の委員会に属しない事項
産業環境	11	市民環境部・経済建設部・企業局・農業委員会
予算決算	21	全部局の予算・決算 および 監査結果

変更後

委員会名	定数	所管
総務文教	8	企画総務部・消防本部・教育委員会・選挙管理委員会・監査委員・会計管理者・他の委員会に属しない事項
生活福祉	7	市民環境部・健康福祉部
産業建設	7	経済建設部・企業局・農業委員会
予算決算	21	全部局の予算・決算 および 監査結果

議会広報委員会

- 委員長 佐藤 絹子
- 副委員長 上田 公司
- 委員 秋岡 芳郎
- 委員 潮崎 焜及
- 委員 宅川 靖次
- 委員 松浦 富子
- 委員 三津 良裕
- 委員 宮崎 光明

※太字についてはインターネット中継および録画配信を実施します。

日	期	内容
22日	金	第1回定例会 閉会
21日	木	議会運営委員会・全員協議会
20日	水	休会
19日	火	休会
18日	月	休会
14日	木	休会
13日	水	休会
12日	火	休会
11日	月	休会
9日	土	休会
8日	金	休会
7日	木	休会
6日	水	休会
5日	火	休会
4日	月	休会
3日	日	休会
28日	木	休会
27日	水	予算決算委員会(議案説明)
26日	火	一般質問(個人質問)
25日	月	一般質問(個人質問)
24日	日	休会
22日	金	休会
21日	木	休会

第一回定例会日程(予定)

平成25年第1回定例会は、2月20日から3月22日までの31日間の予定です。